

労働者を支えるために

政労使で、群馬の労働行政に対する取り組み内容を共有するための群馬産業労働懇談会実務者会議が、6月17日に群馬労働局で行われ、労働局、経営者協会、連合群馬から16名が出席しました。

群馬労働局から、増加傾向にある労働災害防止対策を最重点として推進することや、熱中症予防対策の周知、業務改善助成金などの説明がありました。

連合群馬からは、労働相談体制の強化や労働関係法の改正後の状況、超少子高齢化対策などについて質問し、取り組み内容の共有化をはかりました（下記に一部を紹介）。

【質問内容（抜粋）】 連：連合群馬、労：労働局改正労働契約法について

連：改正法をどのように周知しているか、また労働局へ寄せられた相談内容について教えてほしい。

労：ポスター掲示や、事業所、社会保険労務士を訪問し周知しています。相談は、無期転換直前の5年で契約が打ち切られるのではないかと、65歳以降は無期契約となるかといった内容です。

超少子高齢化対策について

連：女性の社会進出促進の取り組みを、県内企業へ浸透させるための方法はどういったものがあるか。

労：職員1名当たり24件の企業訪問を行い、くるみマークの周知や認定後のメリットを伝えています。

違反のない選挙をどう闘うか —政治活動コンプライアンス学習会—

参議院選挙を見据えたコンプライアンス（法令を遵守した選挙運動）徹底のため、6月15日に前橋市総合福祉会館で学習会を開催し、産別・地協・議員など302名が参加しました。



労組の選挙運動とは？
五百蔵弁護士

講師の五百蔵弁護士から、「労働組合としてできる政治活動と選挙運動について、知識と知恵を身に付け取り組んでほしい」。さらに、解禁するネット選挙については、ウェブ、フェイスブック、ツイッター等の有効的な使い方や電子メールの注意点などの具体例を交えながら、「次回以降の選挙も見据えて、労働組合としてネットワーク構築にも力を入れることが重要」と話がありました。

質疑では、組合員へ選挙期間中のメール配信の仕方など細かい点があげられ、情報を共有しました。



ネット選挙解禁の話に
真剣に耳を傾ける

<3日間で14件> 女性委員会が労働相談対応

6月27日～29日の3日間、働く女性の労働相談キャンペーンを実施しました。



女性の悩み相談に応じる女性委員

相談件数は14件で、内容は職場環境に対する不満や年次有給休暇の取得問題、上司や同僚からの嫌がらせなどをはじめ、アルバイトから正社員になったが、国民年金から厚生年金への切り替えがうまくいかず、未納の通知が届いてしまったという相談もありました。



毎年、男女平等月間の一環として行っており、働く女性の悩みに女性委員が対応するため、対応方法などを事前学習会（下記）で学び、当日に臨んでいます。

～相談対応事前学習会～

6月12日に実施した事前学習会では、群馬労働局から松本雇用均等室長を講師に招き、労働局へ



松本雇用均等室長

寄せられた男女雇用機会均等法に関わる相談として、妊娠を理由とした不利益な取扱いや、マタハラ、セクハラについて紛争解決事例をもとに学ぶとともに、対応に向けた心構えを共有しました。



事前学習会でマタハラやセクハラなどについて学ぶ

第23回参議院選挙 群馬選挙区 健闘むなしく敗戦 ●●比例候補者は6名当選●●

7月21日に投開票された第23回参議院選挙は、群馬選挙区で連合群馬が推薦した、かがや富士子氏は健闘むなしく、当選には至りませんでした。

なお、比例候補者9名におきましては6名が当選を果たすことができました。

皆様の心からのご支援とご協力に感謝申し上げます。

【群馬選挙区】確定投票率 51.75% (前回 58.55%)

候補者名	政党	当落	得票
かがや富士子	民主党	落	123,725
山本一太	自民党	当	580,144
安永あきら	幸福実現党	落	11,200
たなはしせつこ	共産党	落	91,905